



自民党

第33代・第34代環境大臣



あさお 慶一郎

何度でも
チャンスのある社会を

今月の提言

税源の偏在とナショナルミニマム※

税制調査会副会長に就任

環境大臣を退任後、自由民主党の党紀委員長と税制調査会の副会長を拝命しました。税制調査会ではあるべき税制について議論します。我が国の税には大きく分けて国税と地方税の二種類が存在します。国税は国庫に入り、地方税は都道府県や市町村に入ります。地方税についてはかねてよりその税財源の偏在という課題が指摘されてきました。つまり、東京を中心に三大都市圏に税財源が偏在しているとの指摘です。こうした偏りはどうしても起きてしまうものです。そこで全国一律で最低限必要な住民サービスの提供をするため、地方交付税という制度が設けられました。自前の税収だけでは必要な住民サービスで提供できないという自治体に向けた制度です。

不交付団体

財政力に恵まれた自治体は不交付団体と呼ばれ、地方交付税の対象とはなりません。都道府県では東京都が不交付団体であり、具体的には東京23区に加え立川市、武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、小金井市、国分寺市、国立市、多摩市、瑞穂町が不交付団体に指摘されています。神奈川県内では、川崎市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、厚木市、海老名市、寒川町、箱根町、愛川町が同じように不交付団体です。

全国均等に提供すべきサービスは何か

問題は何をナショナルミニマムとして全国均等なサービスと考



えるべきか、ということです。私は公教育、とりわけ義務教育は全国で差が生じてはならないサービスだと思いますが、この感覚は国によって異なるようです。かつて米国に視察で訪れたとき、現地の公立学校がその地域の固定資産税で賄われており、州政府が貧しい地域の学校に助成金を入れる際には、豊かな地域の生徒一人当たり投入される税金の半分までしか助成が出来ないと聞き、驚いたことがありました。それ以上、投入すると財産権の侵害で州が訴えられるという理由です。本当に国によって考え方も異なるものだと思われ知らされました。

納税者の権利についての配慮も大切

我が国では、高校無償化に加えて給食無償化も実施される方向で進んでいますが、それをどの財源で賄うのか、今後の大きな論点になるでしょう。地方自治体が主となって実施する事業であれば、基準財政需要額に加えられることとなりますが、結果として財政需要を満たす財源が不足し交付団体に変わる自治体も出てくるものと思われます。いずれにせよ全国一律で提供すべき住民サービスは何かということについて納税者の権利と併せてしっかり議論すべきだと考えています。

※ナショナルミニマム：国がすべての国民に対して保障すべき最低限度の生活水準のこと

第33代・第34代環境大臣 浅尾 慶一郎

誰にでも何度でもチャンスのある社会を。

あさお慶一郎のプロフィール

昭和39年2月11日生まれ
栄光学園高校、東京大学法学部卒業
日本興業銀行出身、証券アナリスト
米スタンフォード大学
経営大学院 (MBA) 修了

平成10年 参議院議員選挙初当選
平成16年 参議院議員選挙当選 (2期目)
平成21年 衆議院議員選挙初当選
平成24年 衆議院議員選挙当選 (2期目)
平成26年 衆議院議員選挙当選 (3期目)
令和4年 参議院議員選挙当選 (3期目)

浅尾慶一郎
事務所

鎌倉事務所

〒247-0056 鎌倉市大船1-23-11 松岡ビル5階
TEL.0467-47-5682 FAX.0467-47-5626
info@asao.net

Website
asao.netFacebook
facebook.com/
keiichiroASAO

X

twitter.com/
asao_keiichiro

YouTube

youtube.com/
user/
asaokeiichiro



クローズアップかながわ

川崎市宮前区

神奈川県北東部
(宮前区：市の中央西)
面積：18.6km²
人口：234,729人
(令和7年9月末現在)

活動レポートの『クローズアップかながわ』は、神奈川県内の政令指定都市で活躍する方々にインタビューし、それぞれの地域の魅力を発信してまいります。

今回は川崎市内約600の町内会・自治会を牽引する、川崎市全町内会連合会会長 持田和夫さんに、長年暮らしてきた宮前区の魅力と、地域リーダーとしての熱い想いを伺いました。

あさお：宮前区で「ここは外せない」というとっておきの場所がありますか？

持田さん：まずは「影向寺」です。ここに安置されている薬師如来像は国の重要文化財であり、宮前区民で知らない人はいないほどです。また、自然を満喫するなら「東高根森林公園」です。四季折々の表情が楽しめます。特に紅葉の季節は素晴らしい。小さなお子様から高齢の方まで、そして小学校の遠足でも利用されるなど、世代を超えて愛されている場所です。



影向寺本堂

奈良時代の創建と伝わり、平安後期の作とされる国指定重要文化財・薬師如来坐像を祀る、区内屈指の古刹。歴史の重みを感じさせる威風堂々とした本堂が迎えてくれる。

アクセス：東急田園都市線「宮前駅」よりバス、「影向寺」下車すぐ。

あさお：地域の自慢のイベントについて教えてください。



有馬神明社の例大祭

こうした縁も地域の温かさを感じさせます。また、毎年秋に鷲沼の氏神、有馬神明社の例大祭行われます。関東最大級の2トン神輿が、300人の担ぎ手により街を巡行します。圧巻の光景をぜひ見に来てください。

あさお：今後の地域の「強み」と「課題」をどう見ていらっしゃいますか？

持田さん：やはり「宮前区民祭」ですね。今年は5万2千人もの来場があり、大変な賑わいを見せました。今年はタレントのベッキーさんが一日消防署長を務めてくれましたが、実は彼女のご実家も宮前区なんです。こうした縁も地域の温かさを感じさせます。また、毎年秋に鷲沼の氏神、有馬神明社の例大祭行われます。関東最大級の2トン神輿が、300人の担ぎ手により街を巡行します。圧巻の光景をぜひ見に来てください。

しやいますか？

持田さん：宮前区は今、変革の時を迎えています。鷲沼駅周辺の再開発が始まり、2年後には昭和大学医学部のキャンパスも完成予定です。約2,000人の若者が流入することで、街に新たな活気生まれるでしょう。交通の便も良く、ポテンシャルは非常に高いです。

一方で、町内会役員の高齢化や、民生委員のなり手不足は深刻な課題です。一人暮らしの高齢者をどう見守るか。これにはPTAや子ども会など、多世代を巻き込んだ協力体制が不可欠です。また、防犯も急務です。宮前区内では1億3千万円もの特殊詐欺被害が出ています。「電話には出ないように！」という啓発に加え、軽自動車での防犯パトロールや、玄関先に貼って訪問詐欺への抑止力とするステッカーの配布を全戸に行います。行政とも連携しつつ「自分たちでできることはやる」という気概で取り組んでいます。

あさお：最後に、持田さんの「夢」をお聞かせください。

持田さん：私の夢は、地域の皆さんが一つになって「安全・安心のまちづくり」を実現することです。「お互いさま」の精神があれば、災害時でも自然と協力し合えます。そして、まちづくりのバトンを若い世代へ渡していくこと。新しいマンション建設時には町内会への加入を促す覚書を交わすなど、新住民とも一体になる仕組みをつくっています。まずは宮前区がそのモデルケースとなり、その成功事例を川崎全体へ波及させていきたいですね。

あさお：宮前区はますます賑やかに、そして住みやすい街になりそうです。



※イメージ

宮前の梨
特産品の一つ。みずみずしい甘さが自慢。



※イメージ

トマト
完熟収穫で味が濃いと言評の隠れた逸品。

あさお慶一郎をご支援ください

特別賛助 会員募集

『あさお慶一郎君を応援する会』ではあさお慶一郎の政治活動を支援する一助として『特別賛助会員』(5,000円/年)*の募集を行っております。ご入会の方にアーティストとしても活躍される、学校法人大船いし学園 ひがし幼稚園 石井秀卓園長がデザインした『巳』(蛇)のオリジナルピンバッジをお渡しいたします。

※後援会組織『あさお会』は無料、年会費はありません。



自民党员募集中!!

入党 資格

1. わが党の綱領、主義、政策等に賛同される方
2. 満18歳以上で日本国籍を有する方
3. 他の政党の党籍を持たない方

※ご入党いただける方は、下記にご記入いただき、浅尾事務所までご連絡願います。「入党申込書」をお送りさせていただきます。

お申込み記入欄

お申込みは FAX. 0467-47-5626 か asao.net のご意見・お問合せフォームへ

お申込みをされる項目に✓をしてください	フリガナ	電話番号
<input type="checkbox"/> 特別賛助会員	お名前	E-mail
<input type="checkbox"/> ポスターの掲示ご協力 *自宅の壁・フェンス等に掲示可能な方はお知らせください	〒	
<input type="checkbox"/> 自民党入党希望	ご住所	

各種入会・詳細に関しましては、「浅尾慶一郎事務所」ホームページ「<https://asao.net/>」又は TEL. 0467-47-5682 までご連絡ください。